

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）キンキダイガク	フリガナ）経済学部	フリガナ）ムラカミレイコゼミナール
近畿大学	経済学部	村上礼子ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）レイチャンズ	フリガナ）コニシヒロアキ	6	無
レイチャンズ	小西弘晃		

研究テーマ（発表タイトル）

ラグビーで東大阪を盛り上げよう！ ～若者への普及方法を考察して～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップで東大阪の地域活性化を図るために、開催に向けた地域住民、地域行政の意識を調査することで現状の問題などから、今後の課題を学生ならではの視点から考える。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

2009年に日本での開催が決定した、ラグビーワールドカップ2019だが、未だに日本でのラグビーの知名度・人気はサッカーや野球と1試合の観客動員数を比べると観客動員数の平均はラグビーの4倍5倍となっている。これは日本ではラグビーよりもサッカーや野球の方が人気があるといっていだろう。ワールドカップまで残り3年しか残された時間はない。サッカーにも野球にも共通して言えることは、どちらも熱狂的なサポーターが多いところではないだろうか。しかし、ラグビーに関してそういった話を耳にすることは少ない。熱狂的なサポーターの例を挙げるならば、広島カープのカープ女子などは社会現象といっても過言ではないだろう。ラグビーにもそういった熱狂的なサポーターを増やすことが求められてくるだろう。そのために、若い世代の関心を得ることが重要だと考える。

3. 研究テーマの課題

地域活性化を研究テーマにしているが、ワールドカップを通じた地域活性化を考えるにあたって、行政でしかできないことが多く、地域住民としては自分自身で行動しようと考えにくいので、花園ラグビー場周辺にある「スクラムロード」にある商店の店主たちもワールドカップの開催が決まったからと言って従来との変化は、ほとんどないといった回答が多かった。このことから地域住民も活性化に向けて関わっていけるような仕組みづくりが必要である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

市役所へのヒアリングの中で、若者の知名度・人気をあげるために行っていることは何かあるのか？といった質問に対して Facebook での情報発信は行っているが、効果はほとんど無い。といった趣旨の回答があった。これは若者へのアンケートによっても実証されていて、Facebook は就活用というイメージが強く登録はしていても情報発信や交流の場ではあまり使用されていない。若者が情報を共有するためのツールとして利用するのは Twitter なのだ。

そこで私たちは若者がラグビーをより親しみやすくするためには Twitter を使った情報発信が有効であること。

更に小中学生を対象として行われているタグラグビー教室があるのだが、東大阪市の小学校を対象にアンケートを行った結果、タグラグビーを行っている学校の生徒と行っていない学校の生徒ではラグビーへの関心が大きく異なる結果となった。そこで東大阪市の全小中学校で行いタグラグビーを行うことで、2019年に試合観戦に興味を持つ若者を増やすことができると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

東大阪市の小学生を対象にしたアンケート

近畿大学の学生を対象にしたアンケート

東花園駅 スクラムロードへのヒアリング調査

東大阪市役所へのヒアリング調査

ラグビーチーム 近鉄ライナーズへのヒアリング調査

6. 結果や今後の取り組み

調査結果から、地域住民は全体的に行政の仕事だから・まだ三年後だからなどという意見が多く、行政はやっているつもりではある。といった考えを持っている。だが、1・2年で改革できることは少ないので地域住民の意識改革・行政の発信力向上のために何が必要なのか。といった項目に重点を置いていきたい。

7. 参考文献

総務省 HP (<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc242220.html>)

10月15日

東大阪市役所 HP (<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000005557.html>)

10月18日

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。